

平成 16年 3月期 第 1 四半期業績の概況(連結)

平成 15年 7月 31日

上 場 会 社 名 武藤工業株式会社

(コード番号:7999 東証第1部)

(URL <http://www.mutoh.co.jp>)

問 合 せ 先 代表者役職・氏名 取締役社長 加賀 市喜

(TEL (03) 5486 - 1111)

責任者役職・氏名 取締役経営企画本部長 竹本 迪

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度

における認識の方法との相違の有無 : 有

- ・法人税等の計上基準...法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
- ・その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成16年 3月期第1 四半期の業績概況(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年6月 30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満の端数切捨て)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 (四 半 期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年 3月期第1四半期	6,469	-	241	-	245	-	100	-
15年 3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 15年 3月期	27,193		2,098		1,792		866	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年 3月期第1四半期	1.87	-
15年 3月期第1四半期	-	-
(参考) 15年 3月期	15.96	-

(注) 平成15年3月期以外の業績数値につきましては、監査法人による会計監査を受けておりません。

四半期連結財務諸表は平成16年3月期(第1四半期)より作成しております。従って、15年3月期第1四半期及び対前年同四半期比率については、該当事項がないため記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1 四半期におけるわが国経済は、一部に改善の兆候がみられるものの、企業の設備投資、雇用環境及び個人消費が低迷し、また、世界経済においても先行きが懸念されるなど依然として厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、前期に引き続き、情報サービス事業において情報化投資抑制の影響がありますが、情報画像関連機器事業における大判インクジェットプリンタ関連が海外市場で順調に推移しております。当第1 四半期の業績は連結売上高6 4億6 9百万円、経常利益2億4 5百万円、当期純利益1億円とほぼ計画通りに推移しております。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	%
16年3月期第1四半期	27,911	17,166	61.5	319.90
15年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)15年3月期	27,363	16,917	61.8	315.24

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	500	62	153	6,629
15年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)15年3月期	1,633	76	1,646	6,004

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は営業活動によるキャッシュ・フローの増加を主因として、前期末に対し5億48百万円増加いたしました。

キャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前当期純利益2億55百万円、売掛債権の回収による増加3億56百万円等により営業活動によるキャッシュ・フローが5億円の収入となり、現金及び現金同等物は前期末より6億24百万円増加し、66億29百万円となりました。

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	13,000	550	350	6.52
通期	27,000	1,200	750	13.98

[業績予想に関する定性的情報等]

業績は概ね当初予想どおりに推移しており、業績予想の変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績とは異なる場合があります。